

中小企業景況調査報告書

平成28年度第4・四半期（1～3月）

大江川河畔の桜



Cherry blossoms on the banks of Oguni River

目 次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移（全業種）前年同期比	4
景況の推移（繊維製造業）前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（全業種 100社）	5
業種別集計表・新規設備投資集計表（繊維製造業 49社）	6
景況の推移（全業種）業種別集計表 前期比	7
景況の推移（繊維製造業）業種別集計表 前期比	8
「直面している経営上の問題点」の集計表（全業種上位3位）	9
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	10～12
前年同期比のグラフ（全業種・各項目）	13～16

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

調 査 の 要 領

- ・ 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- ・ 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- ・ 調査の実施（方法） 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- ・ 調査対象企業数 100事業所。

- ・ 調査対象企業の業種 次の表のとおり

(1) 景況調査対象事業所(100)の内訳

業 種	事業所数
建設業	7
製造業	61
(繊維製造業)	(49)
(その他製造業)	(12)
卸売業	12
小売業	11
サービス業	9
合 計	100

(2) 繊維製造業対象事業所(49)の内訳

業 種	事業所数
撚糸業	6
織物製造業	22
染色整理加工業	8
縫製加工業	3
そ の 他	10
合 計	49

- ・ 分析方法
 1. DI (Diffusion Index) 分析
「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値
 2. DI分析は、「前年同期」及び「前期」との比較である。
- ・ 分析項目
 1. 前年同期比
(1)業況 (2)売上 (3)採算 (4)資金繰り (5)従業員
 2. 前期比
(1)業況 (2)売上 (3)資金繰り
- ・ その他の分析
 1. 設備投資 実施状況数
 2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算

1位3ポイント
2位2ポイント
3位1ポイント

今 期 の 概 況

業況はゆるやかに持ち直している。

1. 前年同期比D I 値の分析

今期(表 1、3 参照)は、業況、売上、採算、資金繰り、従業員すべてのDI 値で、前期実績を上回った。

来期は、業況、売上、採算、資金繰り、従業員すべてのDI 値で、今期実績を上回る見通し。

指標別の状況

業況DI 値は、前期実績 35.0 から 23.0(12.0 ポイント増)となり、来期は 15.0(8.0 ポイント増)となる見通し。

売上DI 値は、前期実績 35.0 から 31.0(4.0 ポイント増)となり、来期は 20.0(11.0 ポイント増)となる見通し。

採算DI 値は、前期実績 26.0 から 22.0(4.0 ポイント増)となり、来期は 20.0(2.0 ポイント増)となる見通し。

資金繰りDI 値は、前期実績 12.0 から 8.0(4.0 ポイント増)となり、来期は 5.0(3.0 ポイント増)となる見通し。

従業員DI 値は、前期実績 2.0 から 1.0(3.0 ポイント増)となり、来期は 2.0(1.0 ポイント増)となる見通し。

繊維製造業の状況

今期(表 2、5 参照)は、業況、売上、採算、資金繰り、従業員すべてのDI 値で、前期実績を上回った。

来期は、資金繰り、従業員のDI 値で、今期実績横ばい、業況、売上、採算のDI 値で、今期実績を上回る見通し。

2. 前期比D I 値の分析

今期(表 7、8 参照)は、売上のDI 値で、前期実績を下回り、業況、資金繰りのDI 値で、前期実績を上回った。

指標別の状況

業況DI 値は、前期実績 23.0 から 15.0(8.0 ポイント増)となった。

売上DI 値は、前期実績 8.0 から 30.0(22.0 ポイント減)となった。

資金繰りDI 値は、前期実績 11.0 から 8.0(3.0 ポイント増)となった。

繊維製造業の状況

今期(表 9、10 参照)は、売上のDI 値で、前期実績を下回り、業況、資金繰りのDI 値で、前期実績を上回った。

3. 設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(27 件、20 事業所)に比べ件数、事業所とも増加している。

今期の実績(表 4、6 参照)は 37 件(24 事業所)。その主な内訳は、『生産設備』10 件、『車両・運搬具』8 件、『工場建物』7 件となっている。

来期の計画(表 4、6 参照)は 29 件(18 事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』11 件、『O A 機器』5 件、『工場建物』『車両・運搬具』『付帯施設』各 3 件となっている。

4. 直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点(表 11 参照)は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『需要の停滞』『製品等単価の低下・上昇難』を挙げている。

業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

A 社（製造業 <織物>）

2年連続の暖冬により冬物衣料の売れ行き不振。今期は原料(羊毛)高も加わり、減収減益の予想。来期についても世界経済の不安定により先行き不透明である。

B 社（製造業 <織物>）

昨年、今年の暖冬の影響により在庫を捌けるか不安である。個人消費が冷え込む中、衣類を購入する人は少なく、先行き不透明感強まっている。

C 社（製造業 <織物>）

業況は、販売先での売り場面積の縮小、事業縮小などによりこの10年間で一番悪い。消費者の購買行動の変化(カタログ通販やネット通販の増加によりより目で見、触って、試着してという店頭販売の減少)もあり、厳しい業況である。

D 社（製造業 <繊維・その他>）

本業部門は、取引先であるインテリア業界の低迷により低調で、周辺分野からの受注でカバーしている状況である。新規分野については、デパートでの催事で手応えあり、今後、販路拡大と商品改善を図っていく方針である。

E 社（製造業 <繊維・その他>）

売れる工夫や仕掛けを考え、プライスリーダーになることで下請け依存に陥らないようにしている。通販商品については、印刷カタログからウェブカタログに移行したことにより経費削減に繋がった。また、今後はスマホユーザー対象に商品展開していきたいと考えている。

F 社（製造業 <食料品>）

今期の売上は、前年同期と比べ微減である。一定の固定費もかかることから、なかなか利益がでない状況である。同業者の倒産により、引き合いがあるが、単価・納期面で条件が合わず取引成立できない。

G 社（卸売業）

景気後退する中、現状維持に努めている。駅前を中心に飲食チェーン店が増加しているが、新規開拓は進まない。今後も引き続き厳しい業況が続くそうである。

H 社（卸売業）

販売先は、ほぼ全国の商店街等にある婦人服小売店である。今後は、婦人服販売店の廃業が進むことが予想され、売上減少傾向に歯止めがかからない状況である。

景況の推移（全業種100事業所）

表 1

～ 前年同期比～

	H28. 1～3月	H28. 4～6月	H28. 7～9月	H28. 10～12月	今 期 H29. 1～3月	来期の見通し H29. 4～6月
業 況	▲17.0	▲21.0	▲28.0	▲35.0	▲23.0	▲15.0
売 上	▲20.0	▲16.0	▲34.0	▲35.0	▲31.0	▲20.0
採 算	▲22.0	▲16.0	▲27.0	▲26.0	▲22.0	▲20.0
資金繰り	▲12.0	▲ 9.0	▲11.0	▲12.0	▲ 8.0	▲ 5.0
従 業 員	▲ 1.0	▲ 4.0	▲ 4.0	▲ 2.0	1.0	2.0

景況の推移（繊維製造業49事業所）

表 2

～ 前年同期比～

	H28. 1～3月	H28. 4～6月	H28. 7～9月	H28. 10～12月	今 期 H29. 1～3月	来期の見通し H29. 4～6月
業 況	▲20.8	▲30.6	▲46.9	▲55.1	▲44.9	▲26.5
売 上	▲25.0	▲24.5	▲49.0	▲49.0	▲44.9	▲36.7
採 算	▲25.0	▲20.4	▲38.8	▲40.8	▲38.8	▲34.7
資金繰り	▲14.6	▲16.3	▲18.4	▲22.4	▲10.2	▲10.2
従 業 員	▲ 4.2	4.1	▲ 8.2	▲ 2.0	0.0	0.0

業種別集計表 (全業種100事業所)

～ 前年同期比 ～

表 3

	事業所数	7	61	12	11	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	2 (1)	5 (4)	1 (3)	2 (1)	3 (3)	13 (12)	▲ 23.0 (▲15.0)
	不変	4 (4)	28 (36)	8 (8)	6 (9)	5 (4)	51 (61)	
	悪化	1 (2)	28 (21)	3 (1)	3 (1)	1 (2)	36 (27)	
売上	増加	4 (2)	7 (6)	0 (0)	1 (2)	3 (4)	15 (14)	▲ 31.0 (▲20.0)
	不変	3 (4)	20 (28)	6 (10)	7 (8)	3 (2)	39 (52)	
	減少	0 (1)	34 (27)	6 (2)	3 (1)	3 (3)	46 (34)	
採算	好転	2 (2)	5 (4)	1 (0)	1 (1)	3 (3)	12 (10)	▲ 22.0 (▲20.0)
	不変	4 (3)	31 (34)	8 (11)	7 (8)	4 (4)	54 (60)	
	悪化	1 (2)	25 (23)	3 (1)	3 (2)	2 (2)	34 (30)	
資金繰り	好転	1 (1)	3 (2)	0 (0)	1 (1)	2 (2)	7 (6)	▲ 8.0 (▲5.0)
	不変	5 (6)	50 (51)	10 (12)	7 (8)	6 (6)	78 (83)	
	悪化	1 (0)	8 (8)	2 (0)	3 (2)	1 (1)	15 (11)	
従業員	増加	0 (2)	10 (8)	2 (1)	1 (0)	3 (3)	16 (14)	1.0 (2.0)
	不変	6 (5)	42 (46)	9 (9)	9 (11)	3 (3)	69 (74)	
	減少	1 (0)	9 (7)	1 (2)	1 (0)	3 (3)	15 (12)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ()内は来期

新規設備投資集計表 (全業種100事業所)

表 4

設備投資	今期	実施した ※1	24	来期	計画している ※2	18
	(事業所数)	実施していない	76	(事業所数)	計画していない	82

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	1 件	1 件	5. 付帯施設	3 件	3 件
2. 工場建物	7 件	3 件	6. O A 機器	5 件	5 件
3. 生産設備	10 件	11 件	7. 福利厚生施設	1 件	2 件
4. 車両・運搬具	8 件	3 件	8. その他	2 件	1 件
複数回答可			合計	37 件	29 件

業種別集計表 (繊維製造業49事業所)

～ 前年同期比 ～

表 5

	事業所数	6	22	8	3	10	49	D I
		燃糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	1 (0)	1 (2)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	4 (4)	▲ 44.9 (▲26.5)
	不変	2 (5)	3 (11)	4 (4)	3 (3)	7 (5)	19 (28)	
	悪化	3 (1)	18 (9)	3 (3)	0 (0)	2 (4)	26 (17)	
売上	増加	1 (1)	2 (2)	2 (1)	0 (0)	1 (1)	6 (5)	▲ 44.9 (▲36.7)
	不変	2 (3)	4 (8)	2 (4)	3 (3)	4 (3)	15 (21)	
	減少	3 (2)	16 (12)	4 (3)	0 (0)	5 (6)	28 (23)	
採算	好転	1 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	3 (2)	▲ 38.8 (▲34.7)
	不変	2 (3)	9 (12)	4 (5)	3 (3)	6 (5)	24 (28)	
	悪化	3 (3)	13 (9)	3 (3)	0 (0)	3 (4)	22 (19)	
資金繰り	好転	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	▲ 10.2 (▲10.2)
	不変	5 (5)	17 (17)	7 (7)	3 (3)	8 (8)	40 (40)	
	悪化	0 (0)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	7 (7)	
従業員	増加	1 (1)	3 (2)	1 (1)	0 (1)	1 (0)	6 (5)	0.0 (0.0)
	不変	3 (4)	18 (19)	6 (6)	3 (2)	7 (8)	37 (39)	
	減少	2 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	6 (5)	

※ 採算は経常利益で判断

新規設備投資集計表 (繊維製造業49事業所)

表 6

設備投資	今期	実施した ※1	10	来期	計画している ※2	9
	(事業所数)	実施していない	39	(事業所数)	計画していない	40

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	1 件	1 件	5. 付帯施設	2 件	1 件
2. 工場建物	3 件	0 件	6. O A 機器	0 件	1 件
3. 生産設備	5 件	6 件	7. 福利厚生施設	0 件	0 件
4. 車両・運搬具	2 件	1 件	8. その他	0 件	0 件
			合計	13 件	10 件

複数回答可

景況の推移 (全業種100事業所)

表 7

～ 前期比 ～

	H28.1～3月	H28.4～6月	H28.7～9月	H28.10～12月	今 期 H29.1～3月
業 況	▲25.0	▲ 4.0	▲26.0	▲23.0	▲15.0
売 上	▲35.0	▲ 3.0	▲15.0	▲ 8.0	▲30.0
資金繰り	▲15.0	▲ 7.0	▲12.0	▲11.0	▲ 8.0

業種別集計表 (全業種100事業所)

表 8

～ 前期比 ～

	事業所数	7	61	12	11	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業 況	好 転	1	5	1	3	2	12	▲ 15.0
	不 変	6	36	9	5	5	61	
	悪 化	0	20	2	3	2	27	
売 上	増 加	1	7	3	2	3	16	▲ 30.0
	不 変	4	23	4	4	3	38	
	減 少	2	31	5	5	3	46	
資 金 繰 り	好 転	0	3	0	1	2	6	▲ 8.0
	不 変	7	49	11	7	6	80	
	悪 化	0	9	1	3	1	14	

景況の推移 (繊維製造業49事業所)

表 9

～ 前期比 ～

	H28.1～3月	H28.4～6月	H28.7～9月	H28.10～12月	今 期 H29.1～3月
業 況	▲33.3	▲ 6.1	▲34.7	▲38.8	▲24.5
売 上	▲45.8	▲ 2.0	▲10.2	▲28.6	▲40.8
資金繰り	▲20.8	▲12.2	▲16.3	▲22.4	▲12.2

業種別集計表 (繊維製造業49事業所)

表 10

～ 前期比 ～

	事業所数	6	22	8	3	10	49	D I
		擦糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業 況	好 転	0	2	1	0	1	4	▲ 24.5
	不 変	5	9	5	3	7	29	
	悪 化	1	11	2	0	2	16	
売 上	増 加	0	4	1	0	0	5	▲ 40.8
	不 変	2	6	4	3	4	19	
	減 少	4	12	3	0	6	25	
資 金 繰 り	好 転	0	2	0	0	0	2	▲ 12.2
	不 変	6	15	7	3	8	39	
	悪 化	0	5	1	0	2	8	

『直面している経営上の問題点』の集計表

表 11

(全業種上位3位)

業 種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建設業	○従業員の確保難	○民間需要の停滞	○請負単価の低下・ 上昇難
繊維製造業	○需要の停滞	○製品(加工)単価の 低下・上昇難	○製品ニーズの 変化への対応
製造業 (繊維製造業は除く)	○製品(加工)単価の 低下・上昇難 ○需要の停滞	○従業員の確保難	○生産設備の不足・ 老朽化 ○人件費の増加
卸売業	○需要の停滞	○仕入単価の上昇	○商品在庫の過剰
小売業	○消費者ニーズの 変化への対応	○需要の停滞	○購買力の 他地域への流出
サービス業	○従業員の確保難	○人件費の増加 ○需要の停滞	○利用者ニーズの 変化への対応 ○利用料金の低下・ 上昇難

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	3
材料価格の上昇	0
材料の入手難	0
人件費の増加	2
材料費・人件費以外の経費の増加	0
請負単価の低下・上昇難	8
下請単価の上昇	2
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	11
熟練技術者の確保難	3
下請業者の確保難	0
官公需要の停滞	3
民間需要の停滞	9
その他 (新卒者採用難)	1
合 計	42

繊維製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	5
製品ニーズの変化への対応	29
生産設備の不足・老朽化	27
生産設備の過剰	2
原材料価格の上昇	13
原材料の不足	0
人件費の増加	22
原材料費・人件費以外の経費の増加	9
製品(加工)単価の低下・上昇難	37
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	2
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	10
熟練技術者の確保難	23
需要の停滞	84
その他 (繊維業の仕事が減っている、海外の安い品物)	5
合 計	271

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

製造業 (繊維製造業は除く)

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	5
生産設備の不足・老朽化	9
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	3
原材料の不足	0
人件費の増加	9
原材料費・人件費以外の経費の増加	4
製品(加工)単価の低下・上昇難	12
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	10
熟練技術者の確保難	5
需要の停滞	12
その他	0
合 計	72

卸売業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	3
メーカーの進出による競争の激化	0
小売業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	1
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	0
商品在庫の過剰	6
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	3
販売単価の低下・上昇難	4
仕入単価の上昇	8
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	2
従業員の確保難	5
需要の停滞	22
その他 (時代の変化による風習の違い)	2
合 計	59

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

小売業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	6
同業者の進出	0
購買力の他地域への流出	7
消費者ニーズの変化への対応	10
店舗の狭隘・老朽化	3
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	3
人件費以外の経費の増加	0
販売単価の低下・上昇難	0
仕入単価の上昇	0
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	5
需要の停滞	8
その他 (インターネット通販、良い商品の入手困難)	6
合 計	51

サービス業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
利用者ニーズの変化への対応	4
店舗施設の狭隘・老朽化	1
人件費の増加	7
人件費以外の経費の増加	2
利用料金の低下・上昇難	4
材料等仕入単価の上昇	1
金利負担の増加	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	16
熟練技術者の確保難	2
需要の停滞	7
その他	0
合 計	44

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

図 1

景況 DI (全業種) - 前年同期比 -

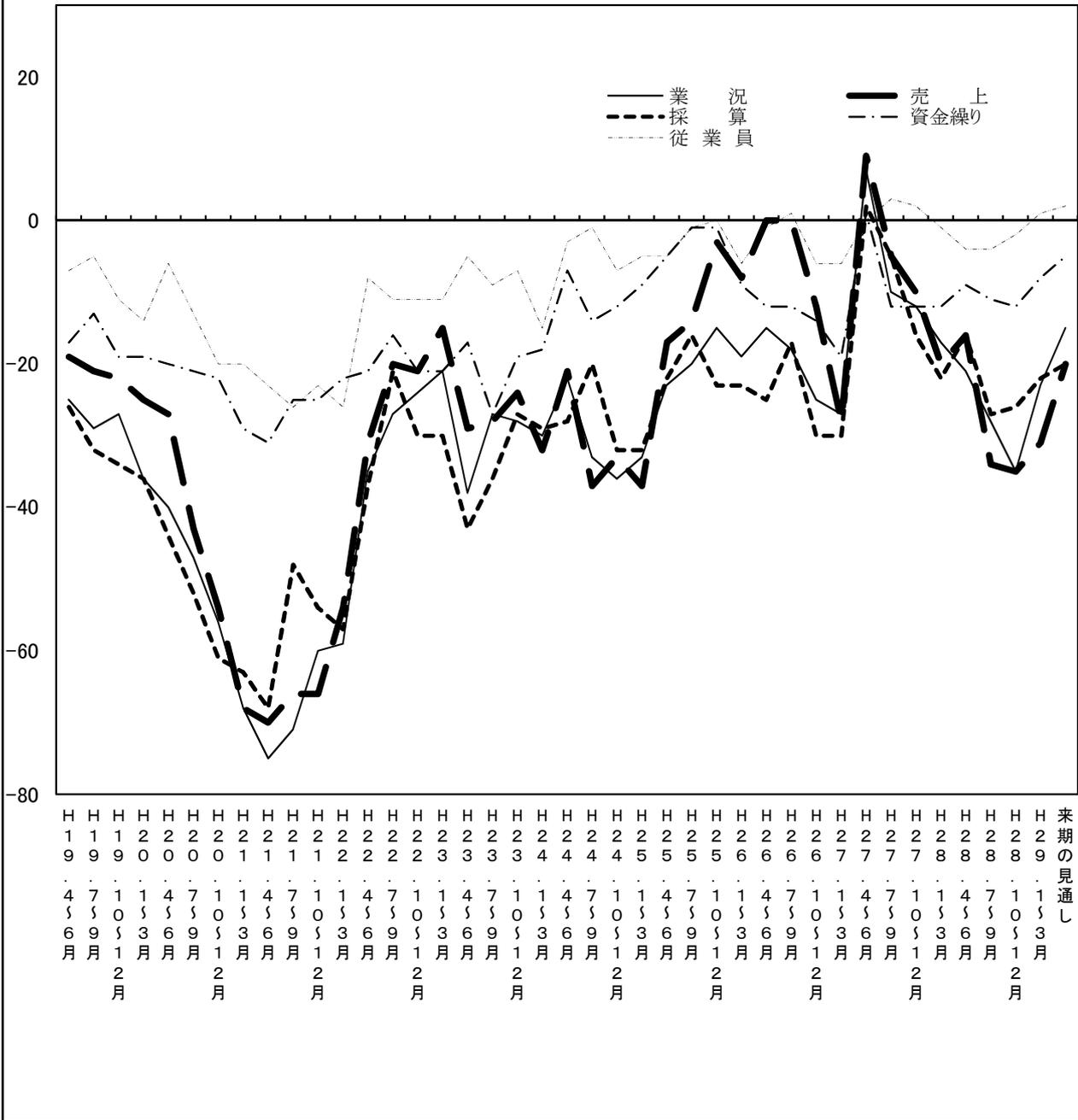


図 2

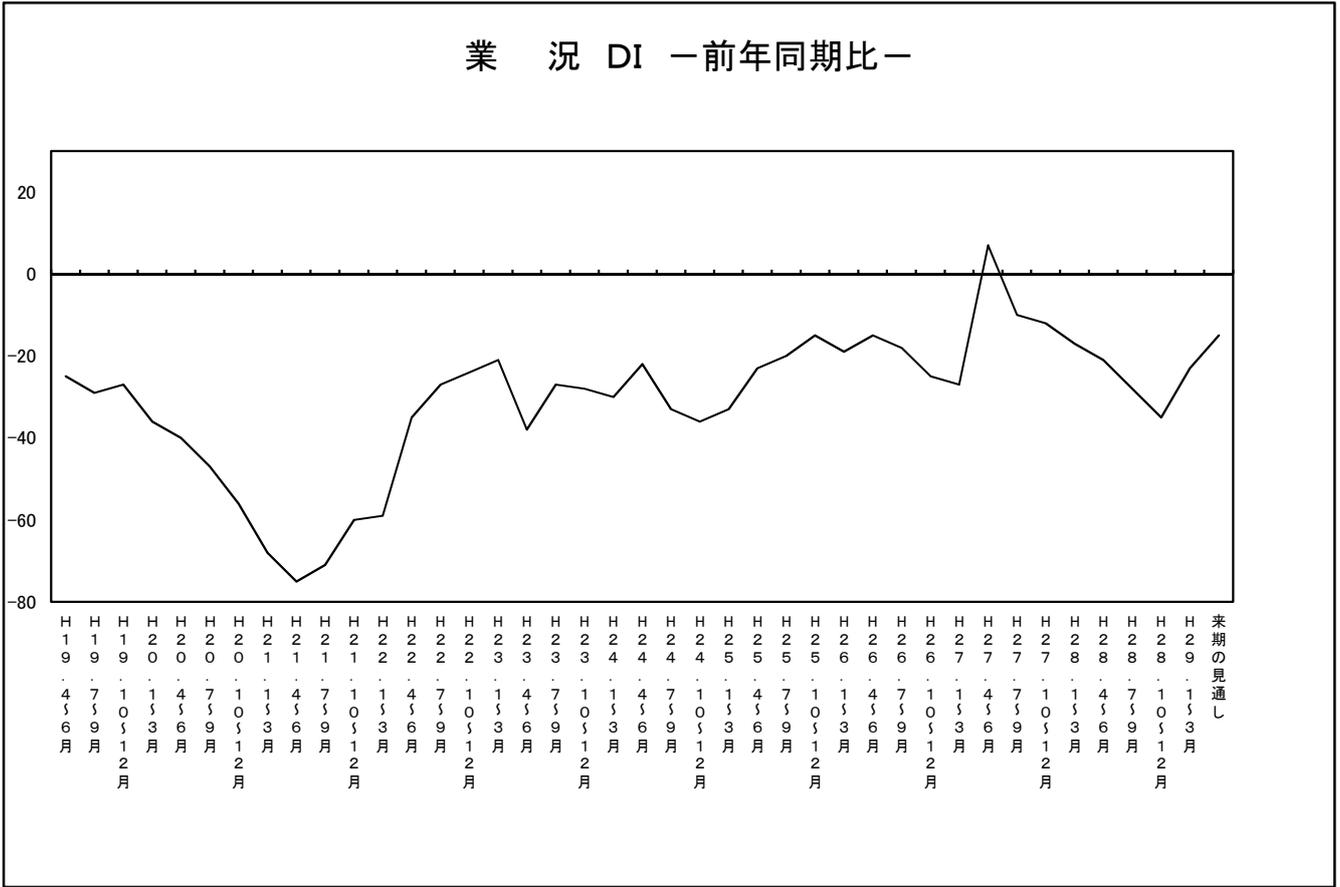
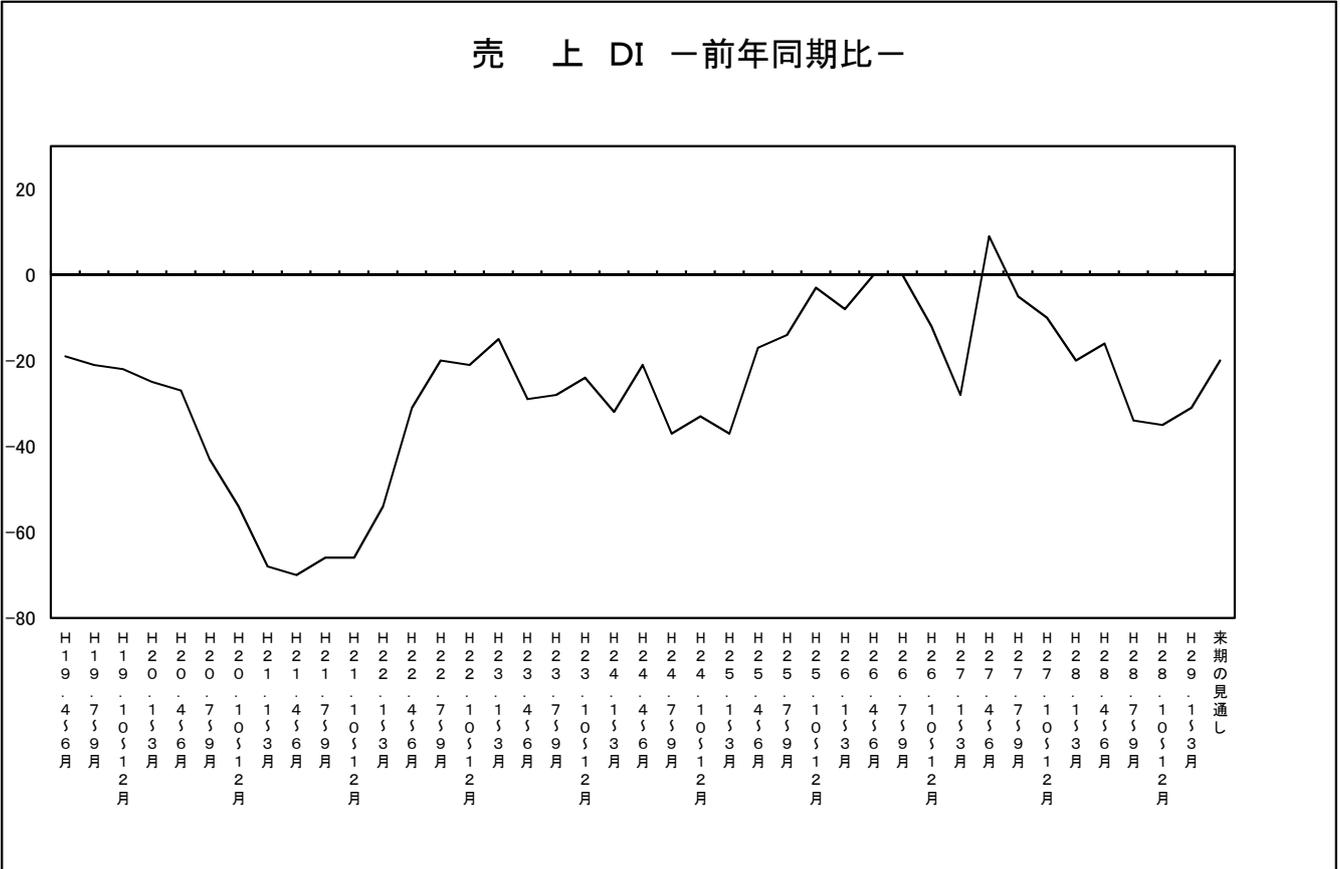
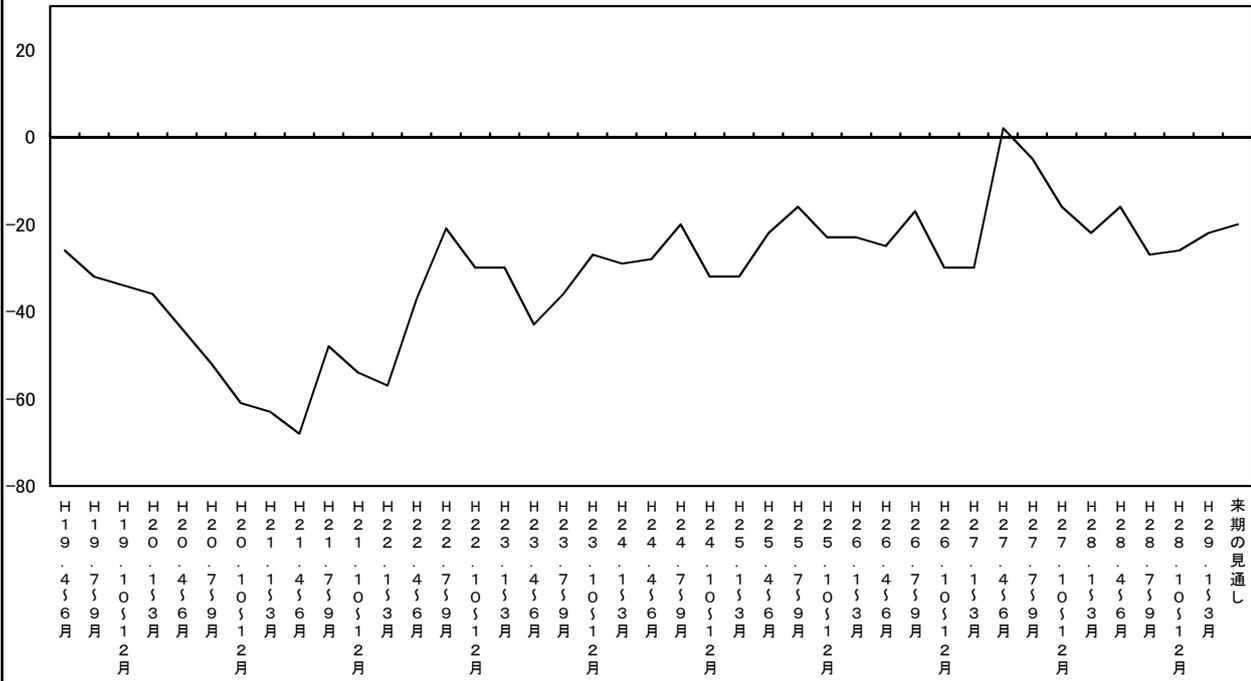


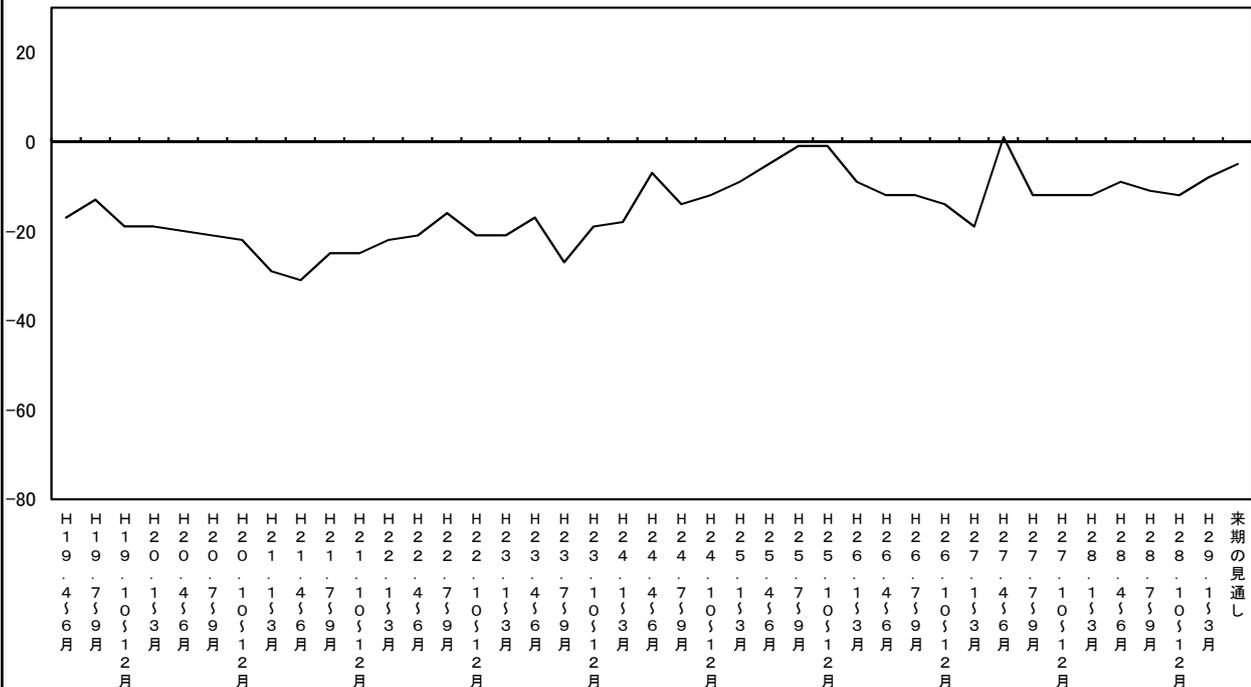
図 3



採 算 DI -前年同期比-



資金繰り DI -前年同期比-





一 宮 商 工 会 議 所
中 小 企 業 相 談 所

一宮市栄四丁目6番8号 (〒491-0858)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail soudan@ichinomiya-cci.or.jp